東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部
２０２２年３月１日発行
第２３号（通巻第２０９号）
発行者：星山 圭　編集者：教育・広報部

2022春闘コンテスト みんなで応募しよう！

2022春闘コンテスト
作品大募集

テーマ「２０２２春闘」「労働組合」
川柳の部 ／ 写真・動画の部

募集期間　２月１日（火）～３月４日（金）まで

●応募対象
組合員・家族、ＪＲ東日本（グループ会社を含む）の全社員
●応募方法
応募専用アドレス jrtueast@gmail.com
もしくは専用 QR コードから応募してください

部門ごとに優秀賞のほか 12 作品、計 24 作品に各地方の特産品を贈呈！

詳しくは東日本ユニオンの役員まで

明るく楽しく春闘に参加しませんか！ たくさんの応募をお待ちしております！

■ 新潟地方本部「2022春闘コンテスト」も開催！！

中央本部の各賞に加えて、新潟地方本部としても賞を用意して受賞の総数を増やします！
本部のコンテストに応募した作品の中から地方本部が選出するので、本部のコンテストに応募すれば自動でエントリーされます。
① 動画大賞、画像大賞、川柳大賞、ユーモア賞　各１作品
② 各分会賞　各１作品 計１０作品
を贈呈！

受賞のチャンスを増やしました！
楽しく春闘に参加しませんか？
たくさんの応募をお待ちしています！

申8号 2022年3月ダイヤ改正における駅及び運輸区の業務体制の見直しに対する申し入れ団体交渉

ダイヤ改正後の作業・環境について質す

新潟地本は２月１５日、申８号・２０２２年３月ダイヤ改正における駅及び運輸区の業務体制の見直しに対する申し入れの団体交渉を行いました。

ローコストの観点からワンマン停目は設置しない

羽越本線でのワンマン運転拡大により、Ｓｕｉｃａエリア外での対応が運転士になることに対して支社側は、車掌は紙の様式で対応しており、ワンマンでも同じ対応を行うことになるとしました。

エリア外の対応が社員の負担になっていることを訴えると支社側は、不慣れなお客さまに不便をかけ、乗務員が対応してくれていることは一つの課題であるとしました。

車内での精算により遅延が発生することについて認識を質すと、支社側も遅延については把握しているとしつつも、ダイヤ提供の点から精算のために停車時間を確保する事は出来ないとしました。

その上で、日々を見てもほんの一部であり、遅延対策として時間を取ることは現実的ではないとの考えを示しました。

周知について質すと、ホームページでも周知しているが、全てのお客さまには伝わっていないことも現実だとしました。

◆　◆

羽越本線村上～酒田間のワンマンミラー清掃とメンテナンスのあり方について考えを質しました。

支社側は、現行では運輸部が現地に行き、行けない時は、運輸区にお願いしていることから、庄内統括センターになれば同じ形となると回答しました。

頻度について問うと、天候が荒れた時は二週間に一回程度であり、基本的には要請があってから行うものであるとしました。

羽越本線・三瀬駅中線に新設される上りワンマン列車用の停止位置目標は３停目の位置に設置するよう求めました。

支社側は、ワンマン列車用の停止位置目標を設置する考えはなく、直近上位の既存の停目を使用する考えであるとしました。

交渉団は、ワンマン停目の有無が異なる区間が混在すると間違いやすいと指摘し、ワンマン停目によって、意識付けになり安全が確保出来た面があると主張しました。

支社側は、ワンマン停目を付ける事が全てではないとする一方で、既に設置されている箇所をわざわざ取り外す事も考えていないとしました。

ワンマン停目を付けない理由を質すと支社側はコロナ禍でもあり、経営状況も含めてローコストであるとしました。

ドア開扉時間 お客さまの声があれば見直す

新潟駅ホーム発前整備となる４２０Ｍなどにドア扱い10分の付加時間を付与するよう求めました。

10分を付加しなくても間に合うとした支社側に対し交渉団は、現行では10分前に車掌がドアを開ける事が出来ないから、付加されているのではいかと指摘しました。

ドアが開くのが遅くなったとのお客さまの声が挙がって来れば見直さなければならないとした支社側に対し交渉団は、お客さまから苦情を貰う前にサービス的な事も考えて10分を要求していると主張しました。

西口は４時05分からしか開かずに業務用のエレベーターを使うしかないため、３分を付加しなければならないとの指摘を支社側も認めた上で、現行と比較してではなく、新たに見直ししたので示したものであるとしました。

４６７Ｍ新潟駅着後の折り返し時間に、西口改札閉鎖時のエレベーター使用による３分を加算するよう求め、足りてなかったので３分を付けるとの回答を受けました。

◆　◆

酒田運輸区の運転士の定期行路に、酒田～秋田間の特急「いなほ号」が無くなることから、技術保持について考え方を明らかにするよう求めました。

支社側は、不安などに対しては必要に応じて添乗するなど、必要な教育は実施して行くとしました。

異常時などに持ち替えは発生するとした支社側に対して交渉団は、急遽の持ち替えは余裕がなく不安もあり、定期行路に入れるべきだと主張しました。

支社側は、秋田支社も同じ条件であり難しいとする一方で、慣らし乗務の必要は支社としても把握しているとしました。

作業間合いは確保、駅の営業体制もとれている

作業間合いの確保が厳しいという声があることを指摘し、作業間合いに対する考えを質しました。

支社側は、越後南線は間合いを取るために運休としたが、貨物については貨物会社との話になるとした上で、間合いの確保は昔と比べて取れているとの考えを示しました。

◆　◆

ダイヤ改正以降の長岡駅、新津駅の作業ダイヤについて明らかにするよう求めました。

新津は早番と遅番の変形２パターンであり、勤務発表時に示すとしました。

営業部には現場から作業ダイヤは上がってくるが営業部が見るのは労働時間や休憩時間などであり、中身については現場が決めているとしました。

新津駅の19時以降の営業体制について質すと、営業社員は20時までいて21時までは助役が改札を対応、それ以降はサポートセンターの対応となるとしました。

異常時等は輸送にヘルプを頼むことはあると思うが信号の卓に必ず一人着座するため、案内をしていて輸送の仕事を逃すことはないとしました。

団体交渉の日程決定！

申22号
2022年度 賃金改善等に関する申し入れ

2022年3月2日（水）
14時00分より

団体交渉に向けて職場からたたかいを作りだそう！